

6 家庭分野（B衣食住の生活）【1年生】

「わたしたちの食生活」（29時間完了）

(1) 題材の目標

知	生活の中で食事が果たす役割や栄養素の種類と働きについて理解し、中学生に必要な栄養を含む1日分の献立を作成することができる。 日常生活と関連付け、用途に応じた食品を選択したり、食品や調理用具等の安全な使い方を理解し、基礎的な日常食を調理したりすることができる。
思	よりよい食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
態	よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生に必要な栄養の特徴について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(2) 学習の内容と評価の計画（29時間完了）

時	学習の流れ	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		評価	内容	評価	内容	評価	内容
課題： 毎朝家族にお味噌汁を作るときに、どのような調理方法で作ると良いかを考えよう							
①	調理方法を選択する際に優先すべきポイントについて考えよう ○ ポイントの推考	A	栄養素の働きや食品の価格、安全性などを踏まえて、課題を解決するためのポイントとその必要性について理解している。	A	課題や目的を踏まえて自分の考えに合った優先順位とその割合を帯グラフに表し、理由について考えている。	A	
		B		B	自分の考えに合った優先順位とその割合を帯グラフに表し、理由について考えている。	B	
				方法	【プライオリティチャート】	方法	
② ⑫	食品に含まれる栄養素や食品摂取量の目安を知り、バランスのとれた食生活を考えよう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	A	中学生の1日分の献立について、栄養的なバランス以外にも嗜好や費用、調理時間などに配慮しながら考えている。	A	中学生の1日分の献立について、栄養的なバランス以外に嗜好や費用、調理時間などに配慮しながら考えている。	A	中学生の1日に必要な栄養について考えようとするともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		B	栄養素の働きや食品の価格、安全性などを踏まえて、課題を解決するためのポイントについて理解している。	B		B	中学生の1日に必要な栄養について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
				方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】	方法	
⑬ ⑮	調理のための食品の選択と購入について考えよう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」				中学生の1日分の献立について、栄養的なバランスに配慮しながら考えている。	A	食品の選択について考えようとするともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
						B	食品の選択について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		方法	【ソリューションシート】 【小テスト】	方法	【ソリューションシート】 【学習プリント】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑯ ⑳	日常食の調理をしよう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	A	食品や調理用具の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、効率的かつ環境に配慮しながら適切に調理することができる。 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理を効率的かつ環境に配慮しながら適切にできる。	A		A	日常食の調理について考えようとするともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		B	食品や調理用具の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に調理することができる。 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理を適切にできる。	B		B	日常食の調理について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。

		方法 【活動の様子】 【完成品】	方法	方法 【プライオリティチャート】 【活動の様子】 【学習プリント】
⑳ 調理方法を選択しよう ○ ポイントの要素の変形 「収束的思考」「収M」	A	調理方法を選択するために、ポイント毎に必要な情報を複数の視点から収集・整理している。	A	調理方法の種類や特徴などと優先順位の割合を考慮して、条件や目的を結び付けた解決策を導き出す力を身に付けている。
	B	調理方法を選択するために、ポイント毎に必要な情報を収集・整理している。	B	調理方法の種類や特徴などと優先順位の割合を考慮して、解決策を導き出す力を身に付けている。
	方法	【ソリューションシート】	方法	【ソリューションシート】
㉑ 学習を振り返ろう 「拡・収RM」	A	課題を解決するためのポイントを踏まえて、課題解決に必要な知識を理解している。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価し、理由を考察する力を身に付けている。
	B	課題解決に必要な知識を理解している。	B	導き出した解決策が自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価する力を身に付けている。
	方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】
㉒ 持続可能な食生活を目指して 自分にできることを考えよう	A		A	持続可能な食生活を目指して、自分の生活と結び付けながら、考え工夫している。
	B		B	持続可能な食生活を目指して、考え工夫している。
	方法		方法	【学習プリント】
				方法 【プライオリティチャート】 【活動の様子】 【学習プリント】

7 家庭分野（C消費生活・環境）【1年生】

「わたしたちの消費生活」（6時間完了）

(1) 題材の目標

知	購入方法や支払い方法についての情報を収集・整理し、それぞれの購入方法や支払い方法を比べながら、購入方法や支払い方法の種類や特徴について理解することができる。
思	購入方法や支払い方法の種類や特徴などと自分の条件や目的を考慮して、解決策を導き出し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
態	よりよい消費生活の実現に向けて、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。

(2) 学習の内容と評価の計画（6時間完了）

時	学習の流れ	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		評価	内容	評価	内容	評価	内容
課題：3日後にせまった担任の先生の誕生日プレゼント（セーター）をどのように買うかを考えよう							
①	商品を購入する際に優先すべきポイントについて考えよう ○ ポイントの推考	A	販売方法と支払い方法の種類や特徴を踏まえて、課題を解決するためのポイントとその必要性について理解している。	A	条件や目的を踏まえて自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し、理由を考えている。	A	
		B		B	自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し理由を考えている。	B	
		方法		方法	【プライオリティチャート】	方法	
② ③	購入方法と支払い方法について知ろう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	B	販売方法と支払い方法の種類や特徴を踏まえて、課題を解決するためのポイントについて理解している。	A	販売方法と支払い方法の種類とそれぞれの利点や欠点について考えている。	A	販売方法と支払い方法の種類とそれらの利点や問題点について考えようとするともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		B		B	販売方法と支払い方法の種類とそれぞれの特徴について考えている。	B	販売方法と支払い方法の種類とそれらの利点や問題点について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		方法	【ソリューションシート】 【小テスト】	方法	【ソリューションシート】 【学習プリント】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑤	商品の選択と購入について考えよう ○ ポイントの要素の変形 「収束的思考」「収M」	A	販売方法や支払い方法を選択するために、ポイント毎に必要な情報を複数の視点から収集・整理している。	A	販売方法や支払い方法の種類や特徴など、優先順位の割合を考慮して、条件や目的を結び付けた解決策を導き出す力を身に付けている。	A	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしているとともに、今までの自分の優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		B	販売方法や支払い方法を選択するために、ポイント毎に必要な情報を収集・整理している。	B	販売方法や支払い方法の種類や特徴など、優先順位の割合を考慮して、解決策を導き出す力を身に付けている。	B	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしている、または、今までの自分の優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		方法	【ソリューションシート】	方法	【ソリューションシート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑥	学習を振り返ろう 「拡・収RM」	A	課題を解決するためのポイントを踏まえて、課題解決に必要な知識を理解している。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価し、理由を考察する力を身に付けている。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしているとともに、導き出した解決策を見直そうとしている。
		B	課題解決に必要な知識を理解している。	B	導き出した解決策が自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価する力を身に付けている。	B	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしている、または、導き出した解決策を見直そうとしている。
		方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】

8 家庭分野（B衣食住の生活）【2年生】

「わたしたちの衣生活～衣服の選択と手入れ～」（9時間完了）

(1) 題材の目標

知	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用, 計画的な活用の必要性, 個性を生かす着用及び衣服の材料や状態に応じた適切な手入れについて理解している。
思	衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 実践を評価・改善し, 考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
態	よりよい生活の実現に向けて, 衣服の選択と手入れについて, 課題の解決に取り組んだり, 振り返って改善したりして, 生活を工夫し創造し, 実践しようとしている。

(2) 学習の内容と評価の計画（9時間完了）

時	学習の流れ	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		評	内容	評	内容	評	内容
課題：小豆島に行くときのコーディネートを考えよう							
①	条件を知り, コーディネートを考える上でのポイントについて考えよう ○ ポイントの推考	A	衣服と社会生活の関わりを踏まえて, 課題を解決するためのポイントとその必要性について理解している。	A	条件や目的を踏まえて考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し, 理由を考えている。	A	
		B		B	自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し, 理由を考えている。	B	
		方法		方法	【プライオリティチャート】	方法	
② ⑤	衣服の機能について知ろう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	B	衣服と社会生活の関わりを踏まえて, 課題を解決するためのポイントについて理解している。	A	衣服の素材の種類とそれぞれの利点や欠点について考えている。	A	条件に応じた自分なりの着方について考えようとするとともに, 課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		B		B	衣服の素材の種類と特徴について考えている。	B	条件に応じた自分なりの着方について考えようとする, または, 課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		方法	【ソリューションシート】 【小テスト】	方法	【ソリューションシート】 【学習プリント】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑥ ⑦	コーディネートを決めよう ○ ポイントの要素の変形 「収束的思考」「収M」	A	社会生活との関わりを踏まえた上で, 個性を生かした着用について理解している。	A	自分の優先順位とその割合を考慮して, 条件や目的を結び付けた解決策を導き出す力を身に付けている。	A	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしているとともに, 今までの自分の優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		B	社会生活との関わりを踏まえた着用について理解している。	B	自分の優先順位とその割合を考慮して, 解決策を導き出す力を身に付けている。	B	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしている, または, 今までの自分の優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		方法	【コーディネート】	方法	【ソリューションシート】	方法	【プライオリティチャート】
⑧	学習を振り返ろう 「拡・収RM」	A	課題を解決するためのポイントを踏まえて, 課題解決に必要な知識を理解している。	A	導き出した解決策が条件や目的, 自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価し, 理由を考察する力を身に付けている。	A	導き出した解決策が条件や目的, 自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしているとともに, 導き出した解決策を見直そうとしている。
		B	課題解決に必要な知識を理解している。	B	導き出した解決策が自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価する力を身に付けている。	B	導き出した解決策が条件や目的, 自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしている, または, 導き出した解決策を見直そうとしている。
		方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑨	持続可能な衣生活を目指して, 自分にできることを考えよう	A		A	持続可能な衣生活を目指して, 自分の生活と結び付けながら考え, 工夫している。	A	これまで学習してきたことを今後の生活に結び付けようとしているとともに, 持続可能な衣生活を目指して自分にできることは何かを考えようとしている。

	B		B	持続可能な衣生活を目指して、 考え、工夫している。	B	これまで学習してきたことを今 後の生活に結び付けようとしている、 または、持続可能な衣生活を目指 して自分にできることは何かを考 えようとしている。
	方法		方法	【学習プリント】	方法	【活動の様子】 【学習プリント】

9 家庭分野（A家族・家庭生活）【2年生】

「わたしたちの成長と家族・地域」（18時間完了）

(1) 題材の目標

知	幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
思	幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
態	よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。

(2) 学習の内容と評価の計画（18時間完了）

時	学習の流れ	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		評	内容	評	内容	評	内容
課題： 附属幼稚園の園児が成長できる遊び（おもちゃ）を考えよう							
①	遊び（おもちゃ）を考える際に優先するポイントについて考えよう ○ ポイントの推考	A	発達には順序性や個人差があることを踏まえて、課題を解決するためのポイントとその必要性について理解している。	A	条件や目的を踏まえて自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し理由を考えている。	A	
		B		B	自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し理由を考えている。	B	
		方法		方法	【プライオリティチャート】	方法	
② ⑦	幼児の発達と生活について知ろう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	B	発達には順序性や個人差があることを踏まえて、課題を解決するためのポイントについて理解している。	A	幼児との関わり方について幼児の発達段階に応じて工夫して考えている。	A	幼児の成長に関心をもち、心身の発達や生活習慣の習得について考えようとするとともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		B		B	幼児との関わり方について工夫して考えている。	B	幼児の心身の発達や生活習慣の習得について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		方法	【ソリューションシート】 【小テスト】	方法	【ソリューションシート】 【学習プリント】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑧ ⑬	グループで遊び（おもちゃ）を計画し、製作しよう ○ ポイントの要素の変形 「収束的思考」「収M」	A	遊び（おもちゃ）を計画するために、ポイント毎に必要な情報を対象の年齢に応じて収集・整理している。	A	対象の年齢とグループの優先順位とその割合を考慮して、条件や目的を結び付けた解決策を導き出す力を身に付けている。	A	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしているとともに、グループの優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		B	遊び（おもちゃ）を計画するために、ポイント毎に必要な情報を収集・整理している。	B	対象の年齢とグループの優先順位とその割合を考慮して、解決策を導き出す力を身に付けている。	B	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしている、または、グループの優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		方法	【ソリューションシート】	方法	【ソリューションシート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑭ ⑮	グループで計画した遊び（おもちゃ）で幼児と関わろう ※ 幼稚園訪問	A		A	導き出した解決策が条件や目的、グループで目指していた優先順位とその割合に最も適しているかを評価し、理由を考察する力を身に付けている。	A	積極的に幼児と関わろうとしているとともに、導き出した解決策が条件や目的、グループの優先順位とその割合に最も適しているかを考えようとしている。
		B		B		B	積極的に幼児と関わろうとしている、または、導き出した解決策が条件や目的、グループの優先順位とその割合に最も適しているかを考えようとしている。
		方法		方法		方法	【活動の様子】 【学習プリント】
⑯ ⑰	学習を振り返ろう 「拡・収RM」	A	課題を解決するためのポイントを踏まえて、課題解決に必要な知識を理解している。	B	導き出した解決策がグループで目指していた優先順位とその割合に最も適しているかを評価する力を身に付けている。	A	導き出した解決策が条件や目的、グループで目指していた優先順位とその割合に最も適しているとともに、導き出した解決策を見直そうとしている。

		B	課題解決に必要な知識を理解している。			B	導き出した解決策が条件や目的、グループで目指していた優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしている、または、導き出した解決策を見直そうとしている。
		方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑩	幼児との関わりを生活に生かそう	A		A	家族の立場から幼児との関わり方について、自分の生活と結びつけながら考えている。	A	これまで学習してきたことを今後の生活に結びつけようとしているとともに、家族の立場から幼児との関わり方について、自分にできることは何かを考えようとしている。
		B		B	家族の立場から幼児との関わり方について考えている。	B	これまで学習してきたことを今後の生活に結びつけようとしている、または、家族の立場から幼児との関わり方について、自分にできることは何かを考えようとしている。
		方法		方法	【学習プリント】	方法	【活動の様子】 【学習プリント】

10 家庭分野（B衣食住の生活）【3年生】

「私たちの住生活」（12時間完了）

(1) 題材の目標

知	家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 基礎的な間取りの書き方を理解しているとともに、適切に書くことができる。
思	家族の生活行為、安全、生活環境を考えた住空間の整え方について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
態	よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(2) 学習の内容と評価の計画（12時間完了）

時	学習の流れ	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		評価	内容	評価	内容	評価	内容
課題： 家族が住むのにふさわしい間取りを考えよう							
①	条件を知り、家族にふさわしい住まいを考える上でのポイントについて考えよう ○ ポイントの推考	A	住居の基本的な機能や住空間の整え方を踏まえて、課題を解決するためのポイントとその必要性について理解している。	A	条件や目的を踏まえて考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し、理由を考えている。	A	
		B		B	自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し理由を考えている。	B	
		方法		方法	【プライオリティチャート】	方法	
② ⑥	住居の基本的な機能について知ろう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	B	住居の基本的な機能や住空間の整え方を踏まえて、課題を解決するためのポイントについて理解している。	A	家族が住むのに適した間取りについて、生活行為、安全、生活環境全てに配慮するように工夫して考えている。	A	家族の生活行為、安全、生活環境に配慮した住空間の整え方について考えようとするとともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		B		B	家族が住むのに適した間取りについて、生活行為、安全、生活環境などに配慮するように工夫して考えている。	B	家族の生活行為、安全、生活環境に配慮した住空間の整え方について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとしている。
		方法	【ソリューションシート】 【小テスト】	方法	【ソリューションシート】 【学習プリント】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑦ ⑩	間取りをかこう ○ ポイントの要素の変形 「収束的思考」「収M」	A	基礎的な間取りのかき方を理解し、適切に間取りをかくことができる。	A	自分の優先順位とその割合を考慮して、条件や目的を結び付けた解決策を導き出す力を身に付けている。	A	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしているとともに、今までの自分の優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		B	基礎的な間取りのかき方を理解し、間取りをかくことができる。	B	自分の優先順位とその割合を考慮して、解決策を導き出す力を身に付けている。	B	条件や目的に合わせた解決策を導き出そうとしている、または、今までの自分の優先順位とその割合の変化を見直しながら解決策を導き出そうとしている。
		方法	【間取り図】	方法	【ソリューションシート】	方法	【プライオリティチャート】
⑪	学習を振り返ろう 「拡・収RM」	A	課題を解決するためのポイントを踏まえて、課題解決に必要な知識を理解している。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価し、理由を考察する力を身に付けている。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしているとともに、導き出した解決策を見直そうとしている。
		B	課題解決に必要な知識を理解している。	B	導き出した解決策が自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価する力を身に付けている。	B	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしている、または、導き出した解決策を見直そうとしている。
		方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】

⑫ 持続可能な住生活を目指して、 自分にできることを考えよう	A		A	持続可能な住生活を目指して、 自分の生活と結び付けながら考え、 工夫している。	A	これまで学習してきたことを今 後の生活に結び付けようとしてい るとともに、持続可能な住生活を 目指して自分にできることは何か を考えようとしている。
	B		B	持続可能な住生活を目指して、 考え、工夫している。	B	これまで学習してきたことを今 後の生活に結び付けようとしてい る、または、持続可能な住生活を 目指して自分にできることは何かを 考えようとしている。
	方 法		方 法	【学習プリント】	方 法	【活動の様子】 【学習プリント】

11 家庭分野（C消費生活・環境）【3年生】

「責任ある消費者になるために」（5時間完了）

(1) 題材の目標

知	消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。
思	自立した消費者としての消費生活について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
態	よりよい生活の実現に向けて、消費者としての権利と責任について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(2) 学習の内容と評価の計画（5時間完了）

時	学習の流れ	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
		評価	内容	評価	内容	評価	内容
課題： 未来のために消費者として自分や家族にできることを考えよう							
①	責任ある消費者になるためのポイントについて考えよう ○ ポイントの推考	A	消費者の権利と責任を踏まえて、課題を解決するためのポイントとその必要性について理解している。	A	自分や家族の消費生活を振り返り、自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し、理由を考えている。	A	
		B		B	自分の考えにあった優先順位とその割合を帯グラフに表し、理由を考えている。	B	
		方法		方法	【プライオリティチャート】	方法	
②	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について知ろう ○ ポイントの抽出 ○ ポイントの解決方法と照合 ○ ポイントの価値付け 「拡散的思考」「拡M」	B	消費者の権利と責任を踏まえて、課題を解決するためのポイントについて理解している。	A	自分や家族の消費生活が環境と社会にどのように関わっているのかを考えようとしている。	A	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考えようとするとともに、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとする。
		B		B	自分や家族の消費生活が環境または社会にどのように関わっているのかを考えようとしている。	B	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考えようとする、または、課題解決に向けて自分の優先順位とその割合を見直して改善しようとする。
		方法	【ソリューションシート】 【小テスト】	方法	【ソリューションシート】 【学習プリント】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
③	自分にできることを考えよう ○ ポイントの要素の変形 「収束的思考」「収M」	A	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について具体的な事例と結び付けながら理解している。	A	自分や家族の消費生活を見直し、優先順位とその割合を考慮して、条件や目的を結びつけた解決策を導き出す力を身に付けている。	A	自分や家族の消費生活を見直し、自分の優先順位とその割合を考慮して、解決策を導き出そうとしている。
		B	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	B	自分や家族の消費生活を見直し、優先順位とその割合を考慮して、解決策を導き出す力を身に付けている。	B	自分の優先順位とその割合を考慮して、解決策を導き出そうとしている。
		方法	【ソリューションシート】	方法	【ソリューションシート】	方法	【プライオリティチャート】
④	学習を振り返ろう 「拡・収RM」	A	課題を解決するためのポイントを踏まえて、課題解決に必要な知識を理解している。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価し、理由を考察する力を身に付けている。	A	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしているとともに、導き出した解決策を見直そうとしている。
		B	課題解決に必要な知識を理解している。	B	導き出した解決策が自分の優先順位とその割合に最も適しているかを評価する力を身に付けている。	B	導き出した解決策が条件や目的、自分の優先順位とその割合に最も適しているかを振り返ろうとしている、または、導き出した解決策を見直そうとしている。
		方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】	方法	【プライオリティチャート】 【活動の様子】
⑤	持続可能な消費生活を目指して自分や家族にできることを考えよう	A		A	持続可能な消費生活を目指して、自分の生活と結び付けながら考え、工夫している。	A	これまで学習してきたことを今後の生活に結び付けようとしているとともに、持続可能な消費生活に向けて自分にできることは何かを考えようとしている。

		B		B	持続可能な消費生活を目指して、 考え、工夫している。	B	これまで学習してきたことを今 後の生活に結び付けようとしてい る、または、持続可能な消費生活に 向けて自分にできることは何かを 考えようとしている。
		方 法		方 法	【学習プリント】	方 法	【活動の様子】 【学習プリント】